



令和3年度入学式に際して

皆さん、おはようございます。山北高校校長の岩本です。

百千鳥さえずる、この春の良き日に175名の新入生の皆さんをお迎えできることを大変嬉しく思います。

そして、保護者の皆様、本日はお子様の入学、心からお祝い申し上げます。昨年度の入学式では、保護者の方々にご列席いただくことができませんでしたが、今年は感染予防を取りながら、こうして皆様と共にいられることが叶いました。まさに、今まで普通にできたことができなくなった昨年度、保護者の方々におかれましても、さまざまな思いが交錯する一年間であったと思います。本日の喜びを胸に、これからのお子様の成長のために、ともに歩みたいと思います。よろしく願いいたします。

改めまして新入生のみなさん、入学おめでとう。皆さんの入学を祝って、会場に鳥の歌声も響いています。もう皆さんは山北高校生です。そこで、昨日、始業式で、皆さんの先輩にお話したエッセンスを皆さんと共有したいと思います。それは、3つあります。

一つ目は、**毎日の生活の中で、「面白い」と思うことを意識してほしい**、ということです。何か、面白いことはないかな、と待つのではなく、今自分のしていることを違う角度から見たり、工夫したりして「面白い」ことを見つけたり作ってほしいのです。厳しい、と思えることも見方を変えると、どこかに「面白い」と思えることがあるものです。そうした発見を積み重ねると、皆さんの人生がより豊かになっていきます。私は、皆さんに豊かな人生を送ってほしいと願っています。ここ、山北高校には「面白い」と思う種が沢山あります。

二つ目は、「**着実に努力**」ということです。これは、本校の校訓、教育方針です。

「着実に」というのは、落ち着いて、一つ一つ丁寧に確かに物事を行う、という意味ですから、「着実に努力」とは、簡単な言い方をすれば、コツコツ真面目に努力する、ということでしょうか。

これは、時には、スピード、効率化の時代に古い、と思われるかもしれませんが、でも、私はあえて、「着実に努力」こそが、これからの時代に大切な生き方を示しているように思えてなりません。

先日、競泳の池江璃花子選手が、とても無理だと思われたオリンピック代表の内定をつかむことができたのは、まさに、この「着実に努力」が実ったものです。皆さんにも大きな可能性を感じています。

三つめは、**優しく、強くあってほしい**、ということです。周囲の人に気遣う為には強い意志が必要な場合があります。また、強いだけではしなやかさが足らず、周りを傷つけたり、「自分自身が折れやすいかもしれません。新型コロナウイルス感染予防をする意志、友達を思いやる気持ち、困ったことを相談する勇気。優しく強くなるには多くの経験が必要です。授業、部活動、学校行事、こうした山北高校のプログラムを一つ一つ経験していくことで、自分の成長を楽しんでほしいと思います。不安に思うことはありません。先生がいます。先輩もいます。そして、皆さんには、今日、出会った大切な仲間もいます。

皆さんが入学した山北高校は、昭和17年、太平洋戦争のさ中、山北町の人々の熱意により町立の「山北実科高等女学校」としてスタートした学校です。その後県立となり、町の方々の支えもあり、もうすぐ創立から80年を迎えようとする学校でもあります。

このように伝統ある山北高校は、一昨年度から神奈川県指定と国、文部科学省の指定を受け、山北町とともに探究活動を通じて、地域を活性化する取り組みを始め、その**取り組みを全国に発信する機会に恵まれています**。皆さんもこの機会をぜひ、生かしてください。学校の伝統とは、日々の学校生活を毎日毎日つむいで、創りあげてゆくものです。**皆さんとともに山北高校のこれからの伝統を紡いでいきたい**と思っています。

この山北高校の生徒として、胸を張り、誇りを持ち、充実した学校生活を送ってくださることを望みます。

入学おめでとう。